

NPO法人東京高次脳機能障害協議会——<http://www.brain-tkk.com/>

【 T | K | K | メ | ル | マ | ガ | vol. 2

～目次～ テレビ、新聞で高次脳機能障害が取り上げられました！

1. T K K 活動
2. 関連団体の活動
3. 行政等の活動
4. T K K 役員より

【1】 T K K 活動

**

● T K K 「 運営委員会」：1月20日（日）午後

- ・ N P O 法人認可・登記等の経過、19・20年度事業計画書・予算書（改訂版）報告
- ・ ㊦ 来年度助成金の状況報告
- ・ ㊦ 今後の活動、事業展開の検討（第2回高次脳機能障害シンポジウム他）
- ・ 情報発信について（ホームページ、メルマガ）

● 「平成19年度東京都相談支援従事者研修」の講師：1月23日（水）

従来の三障害および他の障害に加えて、今回初めてカリキュラムに加わった高次脳機能障害について、T K K の家族会メンバーが講師を務めました。
テーマ：「高次脳機能障害者の生活ニーズについて」

● T K K 「 運営委員会」：2月12日（火）夜

- ・ T K K リーフレットの検討
- ・ 第2回シンポジウム開催
- ・ 他団体との協調について

● 東社協「地域福祉権利擁護事業 専門員・業務担当者研修会」の講師：

□ 2月20日（水）午後、於：飯田橋セントラルプラザ 12階会議室

□ テーマ：高次脳機能障害とは、また地域生活に求める支援とは（当事者の立場から）

□ === 東京都社会福祉協議会 地域福祉部権利擁護事業の方々など東社協の支援の専門家60名ほどの講習会が開催されました。前半は都身障の田中眞智子さん、後半は、T K K の当事者講師さん達の講演でした。講習会ご出席の専門家の皆様には大変感銘していただいたようで、お役にたてて良かったです。 === 細見（み）記

□

● 東社協ニーズリサーチプロジェクトのヒアリング：2月22日（金）、於：調布ドリーム

□ [本プロジェクトの目的-東社協の企画書より]

判断能力が不十分な方々が地域で自分らしい生活を送るために、本人の希望を尊重した生活を実現するために、現実にはどのような問題があるのか、どのようなサポートがあれば実現するのか、ホットラインとご本人からのヒアリング等から、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業などの現状のシステムだけでは支えきれないニーズを明らかにし、新たなサポートシステムの検討や、行政や関係者等への提言として発信していく。東京都の知的障害・精神障害等の団体に加えて、高次脳機能障害もヒアリングを受けました

□

● 東京都議会 自民党、公明党訪問：2月25日（月）、都議会議事堂

● 東京都議会生活者ネットワーク、都精神保健・医療課訪問：2月28日（木）都議会議事堂、都庁

【2】加盟団体等の活動

**

○【セミナー】 脳損傷者の地域生活支援の可能性：3月22日（土）

主催 NPO法人全国障害者生活支援研究会（通称：サポート研）、後援/TKK

詳細は

→http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=4

□

○【サロン】 第5回ドリームサロン～高次脳機能障害を、知ろう、語ろう、もっと身近に～
：3月23日（日）午後1時～4時、調布総合福祉センター2階 主催：調布ドリーム

□

○【視察研修】 オーストラリア訪問8日間

－ 脳損傷・高次脳機能障害者のケアシステムに学ぶ、5月17日～24日

詳細は

→http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=7

【3】行政等の活動

**

● 「区中央部（千代田・中央・港・文京・台東）の高次脳機能障害者支援地域ネットワーク連絡会」：1月25日（金）夜 東京慈恵会医科大学付属病院会議室

□

● 「区西南部の高次脳機能障害者支援地域ネットワーク連絡会」：2月1日（金）夜、

□ R総合病院、 テーマ：「高次脳機能障害者の退院後の生活－問題点とその対応」、

□ 講師：世田谷区総合福祉センター成人係 作業療法士 繁野 玖美先生、対象は区西南部二次保健医療圏内の医療保健・行政・介護職員、参加者約200名。

==== 繁野先生はいろいろな事例を主訴、検査データを基に支援、それまでの問題点を解決していくプロセスをわかりやすくお話されました。

病院から地域へのつなぎについては

- ・医療機関で障害についてしっかり説明しておいて欲しい。
- ・地域の支援にしっかりバトンタッチをしてほしい。（早い時期からスタートした方がいい）

地域での通所先については

- ・通所先は増えているが職員の理解はもう少し。
- ・多職種でアプローチすることで補い合える。支援者同士、地域で支えあえる体制作り。
- ・それぞれのニーズにあった場はまだ少ない。
- ・精神の作業所では高次脳機能障害のことはあまり理解していない。

当事者や家族の気持ちとしては

- ・長期間の支援が必要
- ・一人ひとり変わっていく「時」がある。その「時」を辛抱強く待つ。
- ・無理強いはいできない。支援者にできるのは情熱と環境整備。

一つ一つ当事者家族にとって領ける支援のキーワードだったように思いました。病院では毎日行われていたリハビリが地域に戻るとせいぜい週1回になってしまう。退院する当事者・家族にとっての不安を少しでも少なくするため、早い時期から地域へのつながりを付けて、

地域の情報を提供していくのが良いというお話でした。====太田（記）

□

●千葉リハ主催 高次脳機能障害講習会：2月2日（土）午後、千葉市美浜文化ホール
基調講演：白山 靖彦氏 静岡英和学院 准教授 「高次脳機能障害者を支援する人の果たす役割」 パネルディスカッション：コメンテーター/白山氏、
パネラーは次の各氏 *安藤 公一氏/千葉県障害福祉課長、*旭 俊臣氏/旭神経内科リハビリテーション病院長、*永島 朋子氏/松戸市障害福祉課副保健師長、*東川 悦子氏/日本脳外傷友の会理事長、*太田 令子氏/千葉リハビリテーションセンター地域連携部長

□

●「区南部高次脳機能障害者支援地域ネットワーク連絡会」
：2月22日（金）夜、 於：東京都保健医療公社 荏原病院 2F会議室

□

●国の高次脳機能障害支援普及事業
地方支援拠点機関等全国連絡協議会および公開シンポジウム
：2月29日（金）、於、三田共用会議所講堂
TKKの理事が、シンポジウム監「当事者の家族の立場から」で講演しました。
詳細は → http://www.rehab.go.jp/ri/brain_fukyu/fukyu.htm

□

○葛飾区 高次脳機能障害者の支援を大幅拡充：本年4月よりサービス開始、
各種相談および作業療法、生活リハビリ、レクリエーション・リハビリ講座、言語リハビリ講座等のプログラムおよび家族会支援を大幅に拡充、強化。
実施場所はウエルピア かつしか（葛飾区地域福祉・障害者センター）
[申込み・問い合わせ先] 地域活動支援センター（葛飾区障害者施設課地域活動支援係）
電話 03-5698-1336

【4】各種メディアでの報道

●日本経済新聞 1/10、1/17、1/24、1/31の各夕刊 「寄りそうケア」コーナーに高次脳機能障害が連載、4回目に調布ドリームの活動が紹介されました。

□

●テレビ朝日 1/21～1/25の5日間 13：55～13：59 東京都提供番組「東京サイト」で高次脳機能障害について放映、TKK加盟団体メンバーが出演しました。

□

●NHK 2/10、2/11の2夜 「闘うリハビリ」が放送され、大きな反響を呼びました。
第1回 あなたはここまで再生できる ～脳がもつ可能性～
<http://www.nhk.or.jp/special/onair/080210.html>
第2回 早期リハビリ ～常識”への挑戦～
<http://www.nhk.or.jp/special/onair/080211.html>

●フジテレビ スーパーニュース 2月28日（木）17：30～17：42
映画「ガチ☆ボーイ」の紹介で始まり、高次脳機能障害の簡単な説明、ある当事者の現在/3年前の状況、そして細見理事長がインタビューに応じている映像が放映されました。
「ガチ☆ボーイ」は → <http://www.go-go-igarashi.jp/>

==== 2008. 2. 29 以上